

アオダモ、ケヤキ、ブナなど230本

大和町吉田 平成縄文の森 60人参加し植樹会

【黒川支局】宮城県「みんなの森林づくりプロジェクト推進事業(県民提案型森林づくり支援)」でNTT I-ME社員とその家族による植樹会が27日、黒川郡大和町吉田の「平成縄文の森」で行われ、アオダモ、ケヤキ、ブナ、クリ、トチの苗木合わせて230本を総勢60人で植えた。植樹会場の山林は、社団法人吉田愛林公益会所有地。「森のなか

ま」(横田清二会長)が2001年度から無償で借り受け、「平成縄文の森」と名付けて、動物と共生できる森を作るため植樹や整備活動をしている。植樹会は活動の一環。県プロジェクト推進事業に森のなかまの企画が採用され、NTT I-ME社が協賛し、同社社員とその家族40人

「大きく育て」願いを込めて



が仙台市や東京などから参加。森のなかまの会員20人の指導で高さ約50〜80cmの苗木を植



森の再生を願って苗木を植える参加者

えた。堀江優月さん(7)「小学2年」は「楽しかった」と自然との触れ合いを喜んだ。「植樹したのは小学生のとき以来で楽しかった」と東京から参加した伊東恭聖さん(20)「宮城県出身」。「故郷の自然環境が良くなってほしい」と話した。この日植樹したのは「平成縄文の森」の中で未整備だった0・15畝。荒廃していたが森のなかまが事前に整地していた。「数年育樹すれば立派な森にやみ